

## II 保健予防推進担当

### 1 感染症対策

#### (1) 感染症発生状況

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により、管内医療機関から、三類感染症31件の届出があった。

また、四類感染症は、レジオネラ症7件、デング熱1件、マラリア1件の届出があり、五類感染症は、アメーバ赤痢3件、ウイルス性肝炎1件、カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件、急性脳炎5件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、後天性免疫不全症候群3件、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、侵襲性髄膜炎菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症6件、水痘（入院例）1件、梅毒6件、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2件、風しん4件の届出があった。

三類感染症			平成26年度		
内 訳	患 者 届出数	就業制限等 件数	接触者検診（便検査）		
			件 数	結 果	
				陽性	陰性
腸管出血性 大腸菌感染症	30	30	111	12	99
細菌性赤痢	1	1	5	—	5

#### (2) 感染症対策研修会

日 時	平成26年9月5日	会 場	朝霞保健所
参加者	介護・老人福祉施設職員 37人		
内 容	1 講義：介護・老人福祉施設における感染症対策について -ノロウイルス、インフルエンザ対策を中心に- 講師 独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院 感染症管理認定看護師・感染症看護専門看護師 坂木 晴世 氏 2 演習：嘔吐物処理演習		

#### (3) エイズその他の感染症

エイズ相談・抗体検査実施状況		平成26年度
抗 体 検 査 数	相 談 件 数	
265	804	

性感染症に関する相談を検査日とともに随時に受付けて、早期発見に結びつけた。

(4) 結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、健康診断、患者管理、感染防止、結核医療を根幹として一貫した対策を行っている。

ア 結核接触者健康診断

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第17条に基づく接触者健康診断の実施状況である。

平成26年度

種別	ツベルクリン 反応検査	エックス線検査		喀痰 検査	I G R A 検査	患者発見等	
		間接撮影	直接撮影			患者	発病の おそれあり
人数	13	—	214	—	264	3	11

イ 患者管理

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の規定により、届出を受けたときその者の登録を行っている。

この登録は、効果的な予防対策とともに患者管理の充実を図るため、全国レベルで実施している。

平成26年の新規登録者数は、104名である。

また、平成26年12月31日現在の登録患者数は258名である。

(7) 新登録患者数（活動性分類）

平成26年

種別 市別	活動性結核							合計	(別掲) 潜在性 結核 感染症
	肺結核活動性						肺外 結核 活動性		
	喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌 陽性	菌陰性 ・ その他	小計			
	初回 治療	再治療	小計						
朝霞市	12	—	12	6	4	22	3	25	8
志木市	2	1	3	4	1	8	5	13	3
和光市	3	—	3	4	2	9	—	9	9
新座市	5	—	5	7	3	15	4	19	8
富士見市	8	1	9	4	2	15	3	18	3
ふじみ野市	4	—	4	4	2	10	4	14	6
三芳町	3	—	3	1	1	5	1	6	—
合計	37	2	39	30	15	84	20	104	37

## (イ)新登録患者数（年齢別、市別）

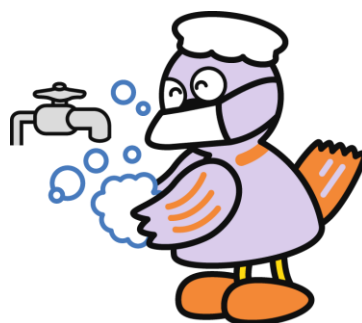
平成26年

市別 年齢	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町	計
0～9歳	—	—	—	—	—	—	—	—
10～19歳	—	—	1	—	—	2	—	3
20～29歳	3	—	1	1	1	3	—	9
30～39歳	3	2	1	2	1	2	1	12
40～49歳	3	1	2	3	1	1	—	11
50～59歳	2	2	—	2	2	—	2	10
60～69歳	6	2	2	4	5	—	1	20
70歳以上	8	6	2	7	8	6	2	39
合計	25	13	9	19	18	14	6	104

## (ウ)登録患者数（活動性分類）

平成26年12月31日現在

種別 市別	活動性結核								不活動性結核	活動性不明	総計	(別掲) 潜在性結核感染症	
	肺結核活動性							肺外結核活動性					合計
	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他	小計							
	初回治療	再治療	小計										
朝霞市	8	—	8	3	3	14	3	17	25	13	55	24	
志木市	—	1	1	3	1	5	1	6	16	3	25	14	
和光市	1	—	1	2	1	4	—	4	15	7	26	17	
新座市	4	—	4	4	3	11	1	12	32	12	56	26	
富士見市	7	—	7	3	—	10	1	11	19	8	38	17	
ふじみ野市	3	—	3	2	—	5	3	8	32	7	47	21	
三芳町	3	—	3	1	1	5	—	5	6	—	11	2	
合計	26	1	27	18	9	54	9	63	145	50	258	121	



(工) 管理検診

結核登録患者で医学的情報を把握する必要のある者に対して健康診断を実施している。

平成26年度

実施場所	種別	直接撮影	間接撮影	発見患者	
				患者	おそれあり
保健所		28	—	—	—

ウ 保健指導

他の者に感染させるおそれの高い、喀痰塗抹陽性患者に対する訪問、面接などについて特に重点を置いており、平成17年度からは患者の治療完了率の向上を図ることを目的に「服薬確認を軸とした患者支援（「DOTS」という）」を実施している。

患者及び家族への保健指導の内容は、結核に対する知識の普及、内服薬等の指導、接触者健診の勧奨、療養の指導、結核の管理システムについてなどである。

また、接触者については、当保健所で作成したリーフレット等を用いながら結核に対する知識の普及及び健診の必要性について説明している。

平成26年度

相談		訪問指導			
電話	来所	実人員	(再掲)DOTS	延人員	(再掲)DOTS
延人員	延人員				
3,128	288	110	68	285	131

エ 適正医療の確保

感染症診査協議会において、入院勧告、結核医療費公費負担申請に関する必要事項を審議している。

朝霞保健所感染症診査協議会

平成26年度

開催回数	延べ診査件数	1回当たりの件数
24回	417件	平均 約17件
内 訳	第18条 (就業制限)	78件
	第19条・第20条 (入院勧告)	120件
	公費負担(第37条の2) (継続申請を含む)	219件

## 2 難病対策

### (1) 指定難病対策事業

#### ア 指定難病等

平成27年1月1日付けで難病の患者に対する医療等に関する法律が施行され、大幅な制度改正が行われた。医療助成対象疾患は旧制度の56疾患が、平成27年1月に110疾患（56疾患を含む）に、平成27年7月には306疾患に増えた。

#### 管内指定難病受給者数

平成27年3月31日

疾病番号	疾患名	受給者数	疾病番号	疾患名	受給者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	35	天疱瘡	28
2	筋萎縮性側索硬化症	33	36	表皮水泡症	1
3	脊髄性筋萎縮症	8	37	膿疱性乾癬（汎発型）	10
4	原発性側索硬化症	—	38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1
5	進行性核上性麻痺	15	39	中毒性表皮壊死症	—
6	パーキンソン病	439	40	高安動脈炎	22
7	大脳皮質基底核変性症	15	41	巨細胞性動脈炎	—
8	ハンチントン病	3	42	結節性多発動脈炎	14
9	神経有棘赤血球症	—	43	顕微鏡的多発血管炎	42
10	シャルコー・マリー・トゥース病	—	44	多発血管炎性肉芽腫症	11
11	重症筋無力症	120	45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	4
12	先天性筋無力症候群	—	46	悪性関節リウマチ	38
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	84	47	バージャー病	16
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	15	48	原発性抗リン脂質抗体症候群	—
15	封入体筋炎	—	49	全身性エリテマトーデス	334
16	クロー・深瀬症候群	1	50	皮膚筋炎／多発性筋炎	101
17	多系統萎縮症	64	51	全身性強皮症	127
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	99	52	混合性結合組織病	56
19	ライソゾーム病	5	53	シェーグレン症候群	5
20	副腎白質ジストロフィー	1	54	成人スチル病	3
21	ミトコンドリア病	9	55	再発性多発軟骨炎	1
22	もやもや病	75	56	ベーチェット病	92
23	プリオン病	1	57	特発性拡張型心筋症	58
24	亜急性硬化性全脳炎	—	58	肥大型心筋症	11
25	進行性多巣性白質脳症	—	59	拘束型心筋症	1
26	HTLV-1関連脊髄症	—	60	再生不良性貧血	44
27	特発性基底核石灰化症	—	61	自己免疫性溶血性貧血	—
28	全身性アミロイドーシス	2	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
29	ウルリッヒ病	—	63	特発性血小板減少性紫斑病	109
30	遠位型ミオパチー	—	64	血栓性血小板減少性紫斑病	—
31	ベスレムミオパチー	—	65	原発性免疫不全症候群	5
32	自己貪食空胞性ミオパチー	—	66	IgA 腎症	4
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	—	67	多発性嚢胞腎	13
34	神経線維腫症	23	68	黄色靱帯骨化症	19

疾病番号	疾患名	受給者数	疾病番号	疾患名	受給者数
69	後縦靭帯骨化症	169	93	原発性胆汁性肝硬変	114
70	広範脊柱管狭窄症	39	94	原発性硬化性胆管炎	—
71	特発性大腿骨頭壊死症	47	95	自己免疫性肝炎	3
72	下垂体性ADH分泌異常症	14	96	クローン病	177
73	下垂体性TSH分泌亢進症	—	97	潰瘍性大腸炎	840
74	下垂体性PRL分泌亢進症	16	98	好酸球性消化管疾患	—
75	クッシング病	6	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	—
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	—	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	—
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20	101	腸管神経節細胞僅少症	—
78	下垂体前葉機能低下症	55	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	—
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2	103	CFC症候群	—
80	甲状腺ホルモン不応症	—	104	コステロ症候群	—
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	—	105	チャージ症候群	—
82	先天性副腎低形成症	—	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
83	アジソン病	—	107	全身型若年性特発性関節炎	—
84	サルコイドーシス	126	108	TNF受容体関連周期性症候群	—
85	特発性間質性肺炎	51	109	非典型溶血性尿毒症症候群	—
86	肺動脈性肺高血圧症	9	110	ブラウ症候群	—
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	—	995	※溶血性貧血(自己免疫性溶血性貧血及び発作性夜間ヘモグロビン尿症を除く。)	1
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11	996	※橋本病	—
89	リンパ脈管筋腫症	5	997	※特発性好酸球増多症候群	5
90	網膜色素変性症	130	998	※脊髄空洞症	5
91	パッド・キアリ症候群	—	999	※原発性慢性骨髄線維症	2
92	特発性門脈圧亢進症	1		合計	4041

※県単独事業

イ 先天性血液凝固因子欠乏症

疾患名	受給者数
先天性血液凝固因子欠乏症	22

ウ 小児慢性特定疾病

【5 母子保健 (1) 医療給付等受給状況 ウ 小児慢性特定疾病医療助成制度 P37に掲載】

(2) 難病相談事業

ア 患者・家族が病気の理解を深め療養生活に役立てられるよう講演会を開催した。

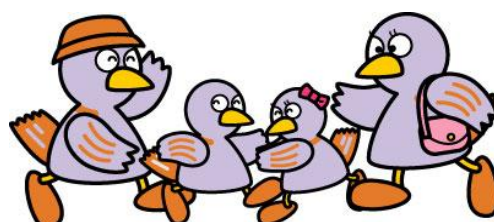
日 時	平成 26 年 9 月 11 日	会 場	朝霞保健所
対 象	神経難病の患者・家族		
参加人数	54名		
内 容	講演 「神経難病と言語障害:家庭でできるリハビリ」 講師 帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科 教授 廣實 真弓 氏		

イ 難病保健指導

	件数
申請時相談等	延べ 16,332 件 (うち、面接による相談 4,777 件)
訪問指導	実人員 10名 延べ人員 15名
在宅療養支援計画策定(ケース検討等)	10回

ウ 筋委縮性側索硬化症交流会

日 時	平成 26 年 11 月 18 日	会 場	川越市保健所
対 象	ALS患者・家族および遺族、医療関係者		
参加人数	51名(朝霞保健所管内より2名参加)		
内 容	「日本ALS協会埼玉県支部 西部ブロック交流会」 日本ALS協会埼玉県支部との共催で実施。 県西ブロック(狭山保健所、坂戸保健所、東松山保健所、朝霞保健所、 川越市保健所)乗り入れ事業として、川越市保健所へ協力を行った。		



### 3 原爆被爆者対策

原爆被爆者等に対し医療給付、各種手当支給等を行っている。

(1) 健康手帳所持者数

平成27年3月31日現在

管内計	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町
273	40	32	34	80	30	45	12

(2) 申請（一般疾病療養費等） 申請者数 159名

### 4 肝炎インターフェロン治療医療費助成

肝炎インターフェロン治療受給者証申請件数

平成27年3月31日現在

申 請	件 数
インターフェロン 新規	23件
インターフェロン 2回目	1件
インターフェロン 3剤併用（テラプレビル）	1件
インターフェロン 3剤併用（シメプレビル）	34件
インターフェロン 3剤併用（バニプレビル）	7件
インターフェロンフリー 新規	63件
核酸アナログ製剤 新規	40件
核酸アナログ製剤 更新	181件
返戻後再申請	3件
期間延長 72週延長	3件
期間延長 副作用延長	1件
合 計	356件



## 5 母子保健

### (1) 医療給付等受給状況

#### ア 療育給付

骨関節結核その他の結核にかかり入院している児童に対し、治療に必要な医療費を給付し、学習用品や日用品を支給するものである。平成26年度は申請がなかった。

#### イ 妊娠中毒症等療養援護費

妊娠中毒等により患し、必要な医療を受けるため7日以上入院した低所得世帯等の妊婦に対し、その療養に要する費用の一部を支給するものである。平成26年度は申請がなかった。

#### ウ 小児慢性特定疾病医療助成制度

国が指定した小児慢性特定疾病に対し、医療費の一部を助成する制度である。平成27年1月1日の制度改正により、704疾病(14疾患群)に拡大された。

#### 小児慢性特定疾病受給者数

平成27年3月31日現在

疾患番号	疾患名	管内計	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町
1	悪性新生物	70	11	7	8	21	13	6	4
2	慢性腎疾患	36	6	3	5	7	6	8	1
3	慢性呼吸器疾患	23	5	1	4	4	2	6	1
4	慢性心疾患	125	32	8	11	31	18	16	9
5	内分泌疾患	143	38	10	7	33	24	22	9
6	膠原病	14	2	1	—	—	4	4	3
7	糖尿病	32	7	2	4	7	6	5	1
8	先天性代謝異常	22	2	4	2	6	3	4	1
9	血液疾患	13	6	—	2	1	—	1	3
10	免疫疾患	7	1	—	—	2	—	4	—
11	神経・筋疾患	40	7	2	7	5	11	4	4
12	慢性消化器疾患	14	2	2	—	3	7	—	—
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	1	—	—	—	—	—	1	—
14	皮膚疾患	2	—	—	—	2	—	—	—
合計		542	119	40	50	122	94	81	36

#### エ 不妊治療費助成事業

不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けた方を対象に、1回の治療につき15万円まで助成をしている。

助成の開始年度と妻の年齢によって、通算3~10回の助成を受けることができる。

#### 不妊治療費助成延件数

平成26年度

	朝霞市	志木市	和光市	新座市	富士見市	ふじみ野市	三芳町	その他	合計
延べ件数	239	153	181	247	225	134	51	3	1,233

(2) 母子保健に関する健康相談

こどもの心の健康相談

こどもの精神的な問題に関し、精神科医及び臨床心理士による専門相談を10回実施し、15名(延べ19名)の相談を実施した。

(3) 在宅療養児の子育て交流会

在宅酸素療法や人工呼吸器などの医療機器を使用している子どもとその保護者を対象に、保護者同士の交流を通じて家庭における療育支援を図るため交流会を開催した。

平成26年度

年月日	内 容	会 場	参加者			
			保護者	在宅療 養児	兄弟	スタッフ・ 関係者
H26. 6. 7	グループ相談 ミニ講義「災害時の備え」 (株)サイサン 山下 健紀氏 (医療用酸素取扱業者)	富士見市 みずほ学園	13	9	1	22
H26. 10. 4	グループ相談 ミニ講義「成長にあわせた支援」 理学療法士 中島 愛氏	新座市 みどり学園	10	6	3	22

(4) 母子保健相談及び家庭訪問

ア 訪問指導

養育医療等の給付を受けた極低出生体重児、障害児の家庭に対し、産婦の健康状態及び家庭環境などを考慮した訪問による養育指導を行った。

平成23年度から管内7市町すべてに未熟児訪問指導の権限を委譲している。

平成26年度

	妊婦	産婦	未熟児	新生児 (未熟児 は除く)	乳児	幼児	その他	合計
実人員	—	4	—	—	4	10	1	19
延人員	—	6	—	—	6	24	1	37

イ 保健指導

医療の申請等での面接時に児童や家族の健康相談、各種制度や相談窓口の説明を行った。また、電話により育児や医療給付制度に関する相談を実施した。

平成26年度

面 接 (延べ人員)						電 話	合 計
妊 婦	産 婦	乳 児	幼 児	その他	小 計		
—	1	2	2	19	24	115	139

(5) 母子保健に関する講演会・研修会

ア 管内母子保健関係者への会議・研修

(ア) 「母子保健事業連絡調整会議」	計	5回
(イ) 「母親支援に関する研修会」	計	2回
(ウ) 「子どもの心の問題に関する研修会」	計	1回

(6) ふれあい親子支援事業

家族等の人間関係などでストレスを感じたり、子育てに自信をなくしている母親を対象に、児童虐待予防を目的として、グループワーク事業を実施している。

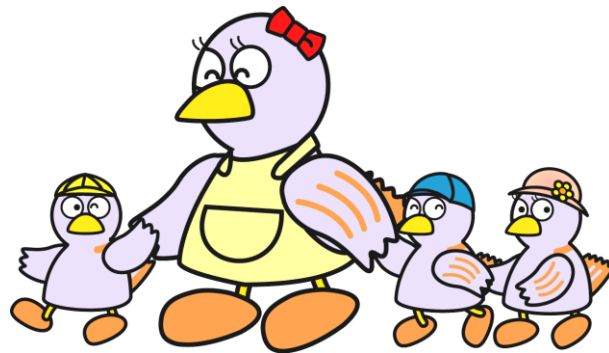
ア 事例検討（受理会議）

9回実施 検討事例15件

イ グループワーク

臨床心理士がファシリテーター、保健所保健師が記録等を担当し、グループ参加時間帯は参加者の子の保育を行った。

12回実施	利用者	実 4名	延べ26名
	保育	延べ25名	



## 6 栄養・健康増進

### (1) 栄養指導等

平成26年度

区分 対象者	個別指導(件)			集団指導(件)			
	栄養指導	運動指導	禁煙指導	栄養指導	運動指導	禁煙指導	その他
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—
20歳以上	23	—	5	566	—	—	—

### (2) 栄養関係団体育成事業

#### ア 地域活動栄養士

定例会への活動支援 10回 延べ122人

#### イ 給食施設従事者

給食施設から健康づくりを推進するため、給食施設従事者の人材育成・支援の一環として、栄養管理、衛生管理における知識及び意識の向上を目的に、研修会を実施した。

実施日	テーマ・内容	講師	参加者数
H26. 6. 12	(1) 講演 「事例からみる給食施設における衛生管理について」  (2) 報告等 「給食施設栄養管理状況報告書の改正について」 「平成25年度給食施設栄養管理状況報告書 集計結果について」	川口保健所 食品監視担当 丸林 友香 氏  保健予防推進担当 管理栄養士	190名
H26. 6. 24 H26. 6. 25 H26. 7. 2	栄養管理研修会 (1) 制度説明 「特定給食施設等栄養管理状況報告書の改正について」  (2) グループワーク 「感染症の発症とその後の検証 ～健康危機管理体制を考える～」	保健予防推進担当 管理栄養士	計43名

(3) 食育普及研修会

地域における食育関係機関の連携と関係者の意識の向上を図ることを目的に、食育普及研修会を実施した。

実施日	テーマ・内容	参加者
H26. 12. 9	<p>食・栄養と運動に関する研修会</p> <p>(1)講演及び実技 「いつまでも元気！ロコモってなあに？運動と栄養から生活習慣を変えよう ～スマホを使った栄養指導の実際～」 講師 株式会社運動指導士アカデミー代表取締役 日本健康運動指導士埼玉県支部支部長 宮崎 尚子 氏</p> <p>(2)アンケート調査</p>	<p>管内給食施設関係職員、管内市町関係職員、地域活動栄養士 等</p> <p>49名</p>
H27. 1. 19	<p>栄養士研修会</p> <p>講演 「ころばぬ先の知恵 ～健康長寿を目指すために～」 講師 さいたま北部医療センター訪問看護室 菊地 環 氏</p>	<p>地域活動栄養士、栄養士資格のある一般市民、管内市町関係職員等</p> <p>29名</p>
H27. 2. 2	<p>栄養士研修会</p> <p>講演 「栄養士が知っておきたい小児看護の基礎知識」 講師 朝霞市こども未来課 曾我 薫 氏</p>	<p>地域活動栄養士 等</p> <p>15名</p>
H27. 2. 20	<p>災害時における栄養・食生活支援に関する研修会</p> <p>(1)講演 「保育所や学校における災害時の対応 ～栄養・食支援の面から～」 講師 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 公衆栄養学研究室 准教授 須藤 紀子 氏</p> <p>(2)グループワーク 「シミュレーションを通じて考える、災害時に地域でできること」 ～埼玉県食料班体験ゲーム（埼玉 SSS）を体験しよう！～</p>	<p>管内市町関係部署（保健衛生、児童福祉、学校給食、防災関係主管課）職員、学校・児童福祉施設等給食担当者 等</p> <p>36名</p>
H27. 3. 10	<p>食育推進研修会</p> <p>講演 「スポーツ栄養とサポート事例について ～スポーツ栄養の事例から学ぶ、健康な体をつくる食習慣～」 講師 エームサービス株式会社 品質管理本部IDSセンター運営企画室 公認スポーツ栄養士 管理栄養士 ダイエティシヤンスーパーバイザー 西山 英子 氏</p>	<p>管内給食施設（児童福祉、学校、事業所）関係職員、管内給食研究会会員、管内市町職員、地域活動栄養士 等</p> <p>56名</p>

(4) 地域・職域連携推進事業

ア 地域・職域連携推進担当者会議

各市町で実施する特定健診・特定保健指導事業が円滑、かつ効果的に実施できるよう支援を行った。

実施日	テーマ・内容	参加者
H26. 6. 9	情報交換 「平成 26 年度特定健康診査・特定保健指導の 円滑な実施に向けて」	管内各市町保健衛生 主管課及び国保主管 課担当者  14名
H27. 3. 10	情報提供 「埼玉県の働く世代の健康づくり支援の取組について」 埼玉県健康長寿課 健康増進・食育担当 大塚 陽子 氏  情報交換 「来年度に向けた特定検診・特定保健指導の円滑な実施 について」 「糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実践について」 「平成 27 年度地域・職域連携推進事業について」	管内各市町保健衛生 主管課及び国保主管 課担当者  15名

イ 地域・職域連携推進事業研修会

保健指導実務者等のスキルアップ及び保健指導の質の向上や円滑な地域・職域の連携推進を目指して研修会を実施した。

実施日	テーマ・内容	参加者
H26. 6. 9	講演 「草加市における特定検診受診率・特定保健指導実施率 向上の取組」 講師 草加市健康福祉部保険年金課 成田 圭子 氏	管内各市町保健衛生 主管課及び国保主管 課担当者  14名
H26. 8. 26	講演 「効果的な保健指導を目指して ～生活習慣及び 検査データからみる事例検討及び指導の実際～」 「最新情報と今後の課題 ～高血圧学会最新ガイドライン等～」 講師 埼玉医科大学総合医療センター 腎高血圧内科 講師 叶澤 孝一 氏	管内各市町保健衛生 主管課及び国保主管 課担当者、企業健康保 険組合、健康管理室等 を有する管内の事業 所等の担当者、地域活 動栄養士会 等  19名

実施日	テーマ・内容	参加者
H27. 2. 10	<p>西部地域保健所合同研修会            テーマ「働きざかり世代に向けた効果的な健康づくり」            ・事例報告Ⅰ「より効果的な特定保健指導を目指して            ～保険者と委託会社との協働～」</p> <p>講師            蓮田市健康増進課 小林 洋子 氏            株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア 今埜 紗代 氏</p> <p>・事例報告Ⅱ「社員の健康増進を目指した健康管理            部門と給食部門との連携について」</p> <p>講師            トッパングループ健康保険組合朝霞診療所 南 純子 氏            エームサービス株式会社 BDS 事業本部北関東事業部            カルソニックカンセイ本社事業部 指田 佳美 氏            凸版印刷朝霞工場事業所 石川 柚紀子 氏</p> <p>・意見交換</p>	<p>市町健診・保健指導担            当者、事業者健康管理            者、給食業務従事者            等</p> <p>50名            (うち朝霞地区            10名)</p>

ウ 特定健診受診率向上事業

保健所での研修会等各種事業を活用し周知を図るとともに、管内市町の取り組みに対し、支援・協力を行った。

○保健所主催研修会及び国民健康・栄養調査時等における受診勧奨

○管内市町の取り組みへの支援・協力

実施日	テーマ・内容	参加者
H26. 9. 23	<p>「朝霞地区 4 市特定健診受診率向上キャンペーン」</p> <p>会場：東武東上線 志木駅 にいざほっとプラザ            内容：健康相談、健診コンシェルジュ（健診受診機関案内）、測定コーナー等</p>	<p>一般住民            562名</p>
H26. 10. 13	<p>「朝霞地区 4 市特定健診受診率向上キャンペーン」</p> <p>会場：JR 武蔵野線北朝霞駅 朝霞市産業文化センター            内容：健康相談、健診コンシェルジュ（健診受診機関案内）、測定コーナー等</p>	<p>一般住民            768名</p>

(5) 受動喫煙対策

受動喫煙対策の一環として、「埼玉県全面禁煙・空間分煙実施施設」の認証制度の推進を図った。

種 別	全面禁煙	空間分煙	合 計
保健・福祉・医療機関	241(2)	1	242(2)
教育関係機関	152	1	153
文化・運動施設	20	1	21
飲食店等	73	1	74
その他民間施設等	7	2	9
官 公 庁	27	—	27
合 計	520(2)	6	526(2)

※ ( ) 内は平成26年度の新規認証件数

(6) 給食施設指導

(件)

給食管理指導 延べ施設数	特 定 給 食 施 設		その他の 給食施設	合 計
	1回100食以上 又は 1日250食以上	1回300食以上 又は 1日750食以上		
	186	98	212	496

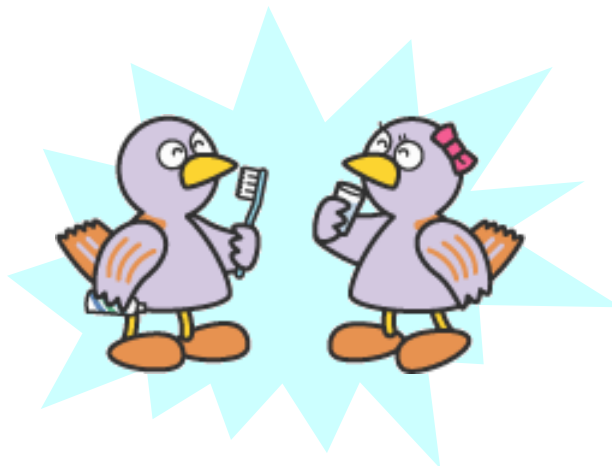




## 7 歯科保健

保健所と管内市町、地域の歯科医師、歯科衛生士との連携を図ることを目的に、保健所歯科保健推進会議を実施した。

実施日	テーマ・内容	参加者
H26. 9. 25	<p>(1) 講話 「糖尿病と歯周病の関連性について」 講師 朝霞地区歯科医師会 田中 入 先生</p> <p>(2) 講演 「高齢者の口腔機能向上を目指して ～医療連携の重要性と多職種で取り組む 口腔ケアの実際～」 講師 特別養護老人ホーム白砂恵慈園 新井 悟 氏</p> <p>(3) グループディスカッション テーマ「高齢者の歯科口腔保健の推進に向けて」</p>	<p>朝霞地区歯科医師会 入間郡市歯科医師会 埼玉県歯科衛生士会 朝霞支部・川越支部 管内市町関係者 (保健・高齢福祉、障 がい福祉)、保健所 職員 等</p> <p>23名</p>



## 8 精神保健福祉

保健所は地域精神保健福祉活動の中心機関として、地域住民の保健福祉ニーズに応じ、様々な精神保健福祉サービス事業を実施している。

### (1) 精神保健福祉相談及び訪問指導

保健師や精神保健福祉相談員が、随時相談及び訪問指導を行っている。新規の受付経路では、警察からの紹介によるものが増えている。

また、管内市町職員等から個別ケースの対応についての技術的支援を求められることが多い。

#### ア 相談及び訪問指導の受付経路

平成26年度

実人員	受付経路		
	市町村	医療機関	その他
340	107	45	188

#### イ 訪問指導状況

平成26年度

実人員	延べ人員					合計
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	その他	
73	—	—	18	3	197	218

#### ウ 相談状況（面接・電話による相談）

平成26年度

延べ人員							合計	(再掲) 電話相談 延人員
老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	その他		
20	19	162	40	13	89	2,309	2,652	2,123

### (2) 通報及び措置入院患者数

平成26年度の通報件数は、合計108件。そのうち87件で精神保健診察を実施し、措置入院は57件であった。

### (3) 精神保健福祉連絡調整会議

精神保健福祉事業運営上の検討、管内の連携強化を図るため、管内市町を対象に2回開催した。

(4) 地域精神保健福祉対策推進事業

地域精神保健福祉の推進を図るため、関係機関職員、精神障害者家族、一般市民を対象に、研修会・相談事業等を開催した。

ア 個別支援技術研修会

管内各市町保健センター・健康増進センター、福祉関係課、地域生活支援センター等の職員を対象とした事例検討会を開催し、精神科医師がスーパーバイザーとして参加した。

全3回：参加者延べ55名

イ ひきこもり相談

(ア) ひきこもり専門相談

臨床心理士による専門相談を毎月1回（合計9回）実施した。利用者は、延べ21名

(イ) 家族教室

家族を対象に教室を開催した。全3回：参加者延べ39名

ウ 精神障害者地域移行支援研修会

精神障害者の地域移行に関する知識の普及を図り、地域でのサポート体制の構築について理解を深めるため、管内の関係機関職員を対象に研修会を2回実施した。参加者は延べ62名

(5) 自殺予防対策

自殺へ傾いた人への支援及び生きやすい地域づくりの推進を目的として、次の事業を実施した。

ア 県民向け講演会『こころと体の健康とアルコール「楽しく元気にお酒とつき合う飲酒習慣を身につけよう！」』 3回実施 参加者延べ49名

イ 保健所窓口等で啓発リーフレット、相談窓口案内カードの配布

